

スマイルライフキャンプ

1 趣 旨

- ・ひとり親家庭の生活の向上に寄与するため、子育てに関する現状や悩み、家庭で大切にしていることを共有し合い、互いに学びを深め、ネットワークづくりを行う。
- ・様々な自然体験活動・生活体験活動を通してコミュニケーション能力、自立心、協調性、自己肯定感の向上等とともに生活習慣のさらなる向上を図る機会とする。

2 主 催

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立夜須高原青少年自然の家

3 連携機関

北九州母子寡婦福祉会（ルックひまわり）

4 期 日

平成29年9月30日（土）～10月1日（日）〈1泊2日〉

5 会 場

国立夜須高原青少年自然の家、サンビレッジ茜（人工芝スキー場）

6 対 象

北九州母子寡婦福祉会（ルックひまわり）会員＊親子で参加（50名）

7 参加者 43名

- 参加人数：16家族41名、北九州母子寡婦福祉会2名
- 学生ボランティア：3名

8 日 程

○9月30日（土）

（午前）出会いのつどい

（午後）林間ボブスレー、溪流体験、ランタンづくり、天体観測

○10月1日（日）

（午前）人工芝スキー体験

（午後）感想文（母子寡婦）アンケート（機構本部）、別れのつどい

9 活動の実際



【出会いのつどい】



【林間ボブスレー】



【溪流体験】



【人工芝スキー体験】

10 アンケートから

<保護者>

- 前回と比べて時間的にゆとりがあったからよかった。(リピーター)
- 子供も大人も楽しめ、また、リフレッシュできる活動、自然体験ありがとうございました。また、来年も来たいです。(初参加)
- 貴重な体験をありがとうございました。また、来たいです。

<児童>

- 人工芝スキーの時間は、もう少し長くがよかった。(12歳)
- 来年は1年に10回以上がいい(10歳)
- また来年も参加したい。(11歳)
- 小さい子は川登りは、やらないほうがよかったと思います。(10歳)

<北九州母子寡婦福祉会ルックひまわり会報用原稿>

☆小倉地区在住保護者

今回初めて参加しました。私一人では、子供たち三人を相手にするのは難しく、つい一番下の小二の子につきっきりになりがちで目がいきとどきません。それが、沢山の大人たちやボランティアのお兄さんお姉さんがいたことで、私も楽しみつつ、休みつつ良かったです。普段、私一人の目だと足りていない色々なことが解消されみんないい思い出になりました。溪流登りでは、今までにない自然の中で登ったり飛び移ったり、寒いとか濡れて嫌だとか言わなかったのが、びっくりしました。本当にみんな頑張りました。お疲れさまでした。スタッフの方々お世話になりました。

☆戸畑区在住保護者

夜須高原スマイルライフキャンプに参加して、自然がたくさんある中でのボブスレーや溪流遊びを通して子供たちの楽しそうな笑顔を日頃よりも多く見られました。親も同じ体験をすることで思い出作りができ、帰宅してからも一緒に話をするきっかけとなると思います。ボランティアの方々や少年自然の家の方々、母子会のご協力を得てこのような活動を体験することができ感謝します。今後も、自然体験ができる活動に参加して子供と同じ時を共有・共感したいと思います。ありがとうございました。

11 成果

- 担当職員が北九州市戸畑区に出向き、事前の打ち合わせを行うことでキャンプを円滑に進めることができた。
また、今回は北九州母子寡婦福祉会のスタッフが、夜須高原青少年自然の家の活動資料を参考にプログラムを企画した。
- 参加者募集に関しては、北九州母子寡婦福祉会役員が初めての家族を優先した募集を行った。
- 上記感想文からも、体験活動の普及啓発につながったキャンプとなった。

12 課題

- 次年度予算の確保。
- 雨天時のプログラムを充実するために、団体受入れ制限について職員の共通理解を図る。